



第129回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策18区シリーズ・第4回」

平成30年7月4日(水) 「鶴見区 総持寺とビール工場見学」

*集合：京急鶴見駅(改札口) 9時50分厳守同時出発

*解散：京急生麦駅



鶴見区は、横浜市 of 北東部に位置し、北西部の丘陵地、鶴見川流域の低地、臨海部の埋立地から形成され、そのほとんどは市街地となっています。臨海部は工業地帯、中心部は商業・住宅地域が主体となっていますが、住工混在地区も見られます。また、丘陵部は、区内では数少ない自然が残された住宅地となっています。昭和2年の横浜市 of 区制施行によって誕生した鶴見区は、工業地帯としての顔ばかりでなく、商業都市、住宅都市としての顔も兼ね備えています。

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★鶴見区役所発刊図書ほか

①鶴見沖繩ストリート

仲通周辺は、沖縄出身者や2世3世が多く住んでいます。沖縄料理店をはじめ、沖縄の物産を販売する店も多く、夜になると、スナックからは沖縄民謡やサンシンの音が聞こえます。

②総持寺

瑩山禅師によって開創された大本山總持寺は、13000余ヶ寺の法系寺院を擁し宗門興隆と正法教化につとめ、能登に於いて570余年の歩みを進めてまいりました。しかし、明治31年(1898)4月13日夜、本堂の一部より出火、フェーン現象の余波を受け瞬時にして猛火は全山に拡がり、慈雲閣・伝燈院を残し、伽藍の多くを焼失してしまいました。

明治38年5月、本山貫首となられた石川素童禅師は焼失した伽藍の復興のみでなく、本山存立の意義と宗門の現代的使命の自覚にもとづいて、大決断をもって明治40年3月に官許を得、明治44年(1911)に寺基を現在の地に移されたのです。

③生麦魚河岸通

この魚河岸は、とにかく魚介の種類が多くて新鮮。特に貝類は、アサリ、アオヤギが主流で季節によって、カキ、ミル貝、ホッキ貝、帆立、アワビ、平貝、赤貝等々豊富に並ぶ。魚類もマグロからイワシまで、お寿司屋さんの湯飲みにかかっている魚の数くらいはあるのだろう。素人でも気軽に買い物ができる。

(日・祝・水;休業 営業時間：5:00～12:00)

④正泉寺

真言宗の南海山琉璃光院正泉寺(本尊は薬師琉璃光

如来)。鶴見七福神の恵比寿神で知られています。この恵比寿さん、大鯛を担ぎ船型台座に祀られています。地元生麦漁師が江戸城に新鮮な魚介を納めていたという心意気を伝えるとあります。また、波切不道明王で武相不動尊霊場でも知られています。境内参道には地藏石像安置のお堂(祠)がある。

⑤道念稲荷社

「蛇も蚊も」とは不思議な呼び名だが、これは横浜市鶴見区生麦で行われている民俗行事で、旧暦の5月に萱で造った大きなへびをかついで町内練り歩く祭り。かつては本宮地区の道念稲荷神社と原地区の神明神社がそれぞれに蛇を作り、両地区の境界でもみ合った後海に流したといわれるが、現在では両神社が独立に行う行事となっている。この行事は、横浜市によって「無形民俗文化財」に指定されている。

⑥キリンビール工場

工場見学のあと、当工場で生産されたビール・ジュースの試飲ができます。

⑦生麦事件碑

時は文久2年(1862年)8月、武蔵国生麦村(現鶴見区生麦)でそれは起こりました。馬で川崎大師へ向かう英国人4名が行列をさえぎったと薩摩藩士に切りかかれ、内1名が死亡。翌年、英国艦隊は犯人引渡しと賠償金を求めて薩摩に向かい、薩英戦争が勃発。東海道の一漁村で起こった英国人殺傷事件が、日本の歴史を大きく変えたのでした。幕末時代の外交・近代日本の進路に大きな影響をもたらした、後に「生麦事件」とよばれる大事件です。

文責：神田恵仁

鶴見区 総持寺&ビール工場見学

全行程約7.7km



本殿



地下連絡道

生麦事件参考館
045-503-3710



⑦ 生麦事件碑

⑥ キリンビール工場



⑧ 生麦事件参考館

⑦ 生麦事件碑

⑤ 道念稻荷社

④ 正泉寺

③ 生麦魚河岸通り

① 鶴見沖繩ストリート

ゴール

駅入口

東福寺

② 総持寺

生麦7k

生麦6k

生麦5k

生麦4k

生麦3k

生麦2k

生麦1k



鶴見区の位置

横浜散策18区

本郷ふじやま公園古民家歴史部会

dimson

